

■ 京都丹波フェアの出展実施方針（案）

・京都丹波フェアは、

- 「京都丹波」の恵まれた環境と文化的価値に触れ、今見える地域資源の価値やその可能性・将来性に気づき更なる地域振興につなげるとともに、潜在的な地域資源を発掘し、新たな地域振興を推進していく

ことを目的としており、そして、

- 新たな時代の幸福社会の実現に向けて、フェアの開催によって、「自然の恵み」「人とのつながり」「経験や時間、体験」など物質的な豊かさだけでなく精神的な充実や心の満足度をフェアでの交流により高めていただく

ことも目的としている。

・地域振興につなげる、地域振興を進めるためには、

- 地域の良いものの価値に気づき「守っていく」「活かしていく」
- 新たな地域の良いものも含めて「発展させていく」

が必要と考えられる。

・すなわち、京都丹波フェアは、以下のように位置づけられる。

京都丹波フェア



地域の良いものの価値に気づくフェア
新たな価値や知識を得る機会となるフェア

・上記の考え方より、京都丹波フェアにおいては、以下を統一テーマとして出展を展開していく。

地域の良いものの価値に気づき、新たな価値や知識を得るための出展

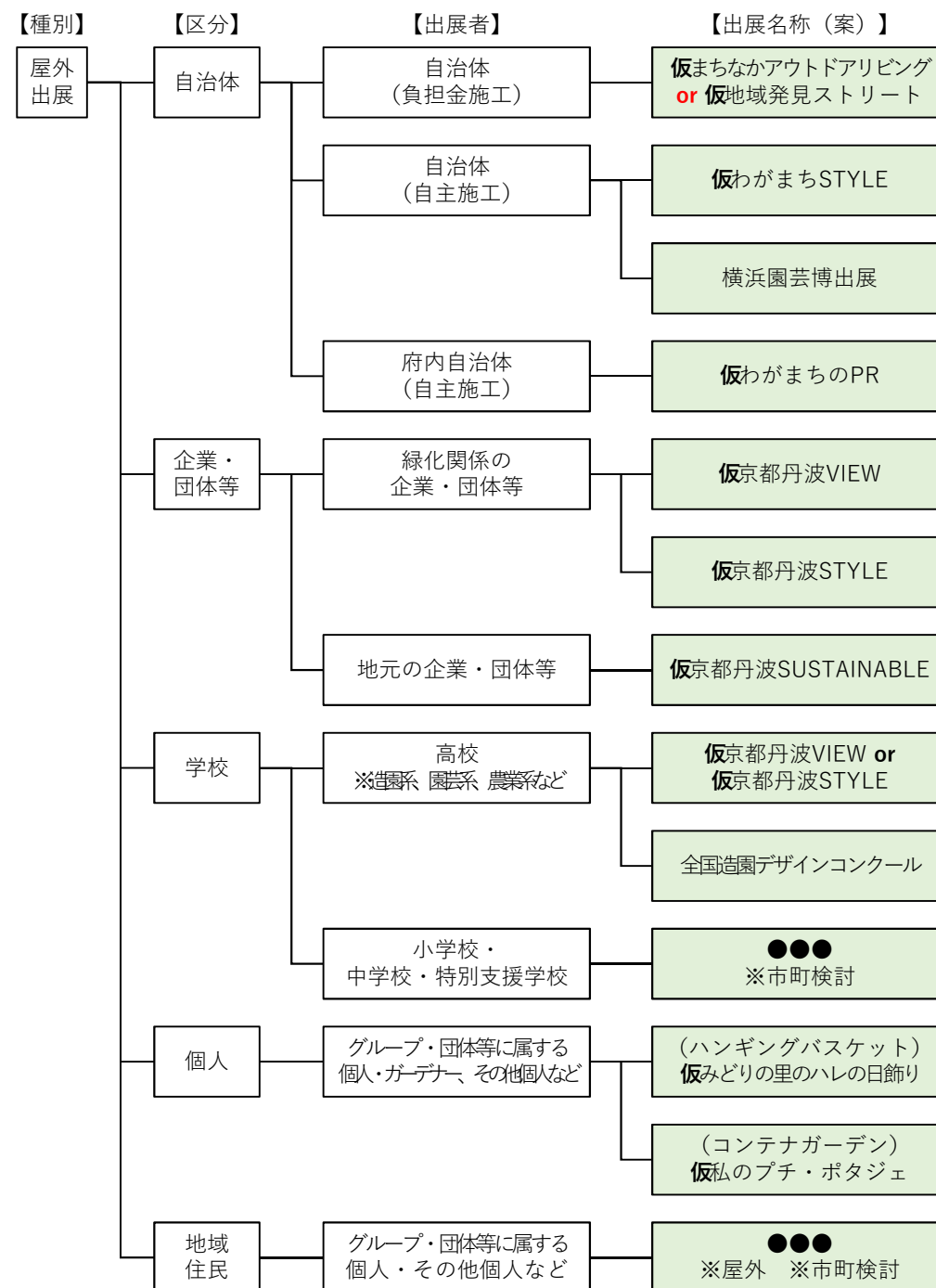


出展統一テーマ
「温故知新」

・具体的には、以下のような出展を展開していく。

- 京都丹波の「豊かで美しい環境」「豊かな食農の恵み」「地域の魅力となる文化・芸術」を題材とした出展
- 「自然の恵み」「人との繋がり」「経験や体験」など精神的な充実や心の満足度が得られる出展

■ 屋外出展の区分（案）



■ 全国造園デザインコンクール出展

■ 出展概要（案）

対象	規模	出展場所
●全国の高校生（造園系、園芸系、農業系など）	5m*4m=20㎡程度/区画 （全1区画）	亀岡運動公園競技場側 芝生広場



■ 出展のタイトル・テーマ

タイトル：『全国造園デザインコンクール』
 テーマ：～「みどりの広場」プラン賞～

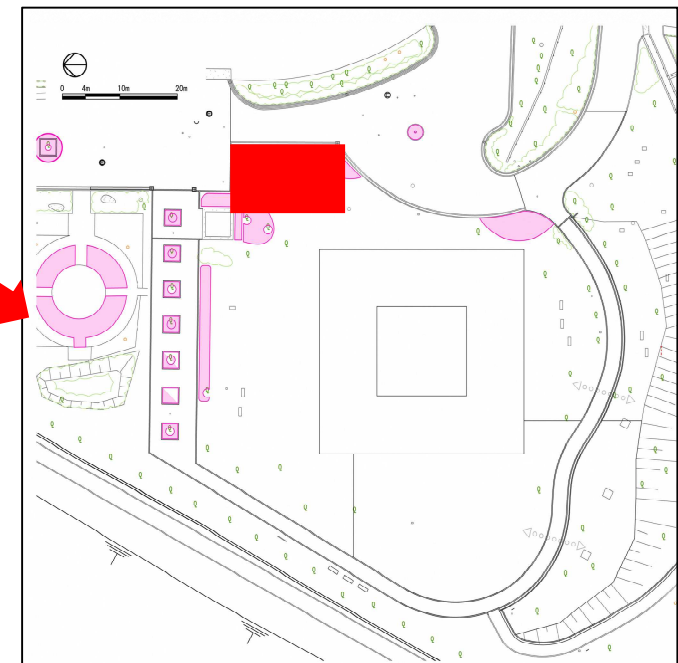
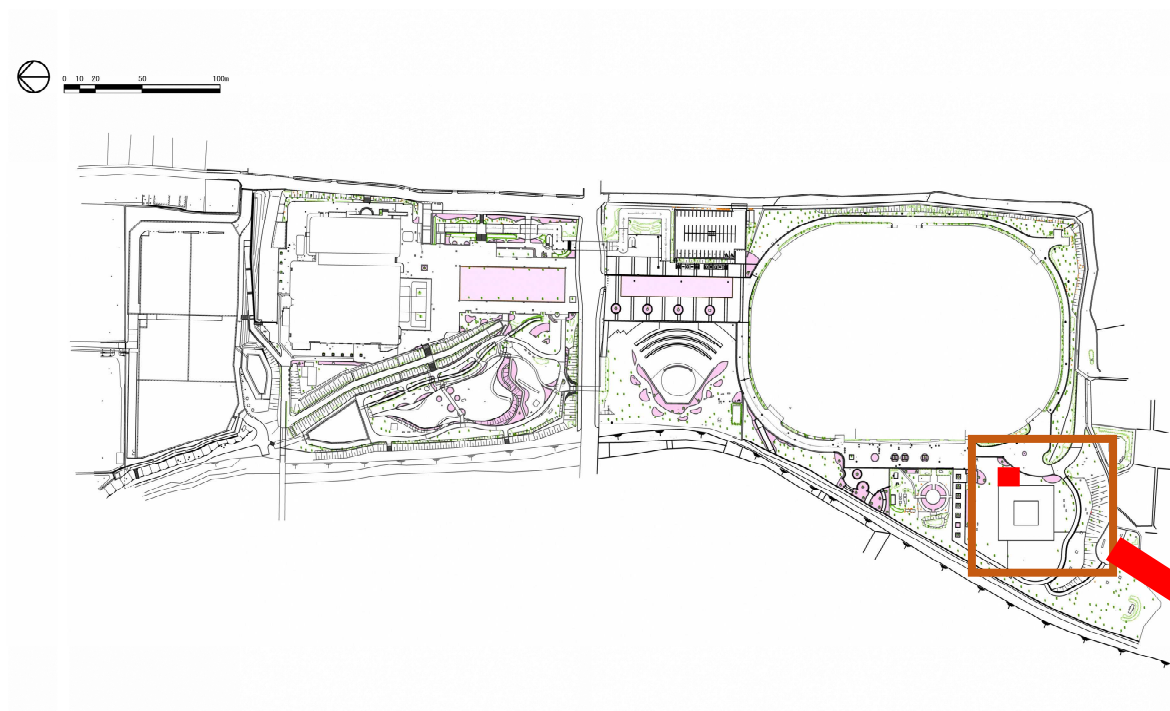
主催者・施工者

・日本造園建設業協会



■ 全国造園デザインコンクール出展

■ 出展配置（案）



▲配置場所予定地 拡大図

※整備状況により、配置場所が変更になることがございますのでご了承ください。